まちづくりの目標１　未来を創り出す子どもが育つまちづくり（子育て・教育）

まずはじめに、まちづくりの目標　１　「未来を創り出す子どもが育つまちづくり」について申し上げます。

まず、**子ども・子育て支援の充実**については、核家族化や育児の孤立化などを背景に、子育てニーズが多様化・複雑化する中、妊娠期から子育て期まで、すべての家庭が安心して子育てができるよう、健診や健康相談の充実、検査項目拡充への助成、不妊に悩む夫婦への支援など、母子保健サービスの強化充実を図るとともに、支援を必要とする家庭に対しては、子ども家庭センターと関係機関が連携し、状況に応じた切れ目のない継続的な支援を行います。

また、就学前人口が減少する一方で、多様な価値観による家族構成の変化や共働き世帯の増加等による保育ニーズの多様化を踏まえ、延長保育や休日保育、一時預かり等に対応しつつ、「公立保育園・幼稚園の再編等に関する計画」に基づき、将来にわたり持続可能な教育・保育サービスの提供体制を構築してまいります。

あわせて、新たに通園給付事業として、乳児等通園支援事業（こども・誰でも通園制度）を実施し、円滑な運用と利用促進に取り組んでまいります。さらに、１８歳までの医療費無償化の継続や、えひめ人口減少対策総合交付金を活用した出産世帯応援給付金事業、「こども・子育て複合施設」の整備等を通じて、子育ての場の創出と子育てを支える体制づくりを一体的に取り組んでまいります。

次に、**学校教育の充実**につきましては、いじめ・不登校等の問題への対応として児童・生徒、一人ひとりに寄り添った支援に努めるとともに、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等との連携を強化してまいります。また、新年度におきましては、現在、中学校２校で実施している校内サポートルームを、特に支援が必要と判断した小学校６校においても実施し、不登校児童・生徒等へのよりきめ細やかな支援を推進してまいります。

安全・安心で充実した教育環境の整備につきましては、「小・中学校の適正規模・適正配置等に関する基本計画」に沿って、少子化の進展など社会環境の変化を踏まえ、児童・生徒にとって最適な学校の規模適正化や配置に取り組むとともに、既存施設の計画的な長寿命化等を図るため、引き続き金子小学校校舎北棟の改築を進めてまいります。

さらに、新たに、小・中学校体育館への空調設備設置に着手し、学校教育や社

会体育等における体育館利用者の安全・安心・快適性の確保に取り組んでまいります。